

洗濯用柔軟剤を使う人 7 割、うち 9 割以上が「香りつき」購入

洗剤や柔軟剤の「香りが好き」61.2%、「正直香りは苦手」も 33.9%

「アイテムや人に合わせ、無香料との使い分けもアリ」55.3%

＜オレンジページくらし予報＞では、洗濯用の洗剤・柔軟剤の気になることについて調査しました。調査対象者(国内在住の成人女性)では、「洗濯のほとんどを担当している」人が81.4%、洗濯頻度は「毎日1回」が最多で47.7%でした。直接肌につけるものを洗う、という点から、洗剤の「肌へのやさしさ・すすぎ残り」などを気にする人が多く、また「よい香り」へも微妙な賛否両論があることが見えてきました。

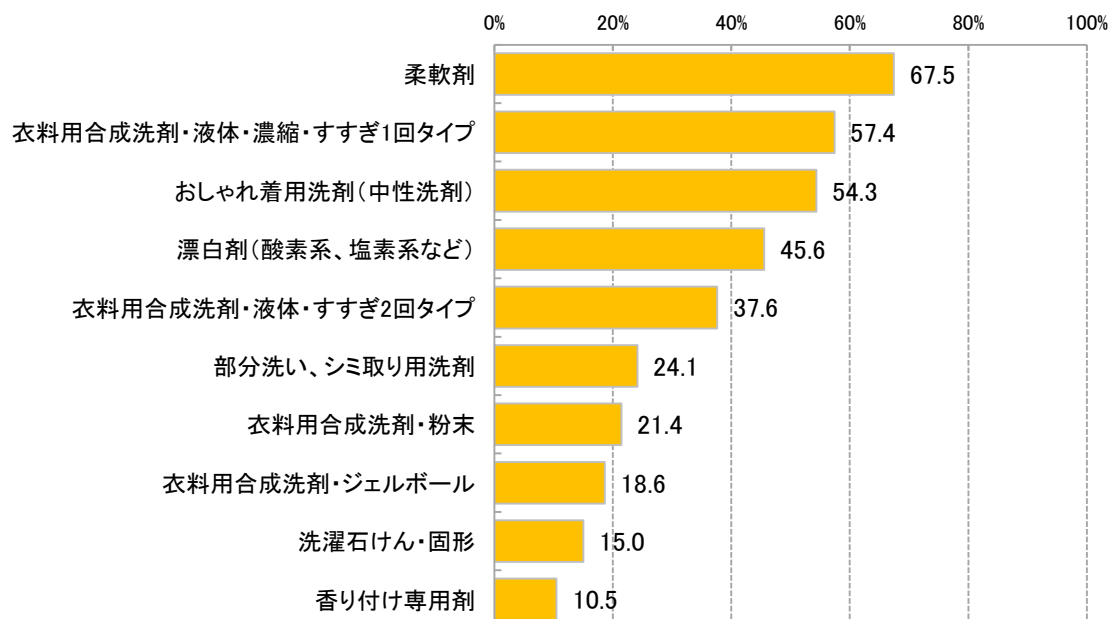
【ダイジェスト】

香りつき洗濯洗剤使用者のうち、「無香料・無添加」の使用希望は 66.3%

「他人の柔軟剤の香りが気になる」人が 62.1%、「香りが苦手」な人も 33.9%

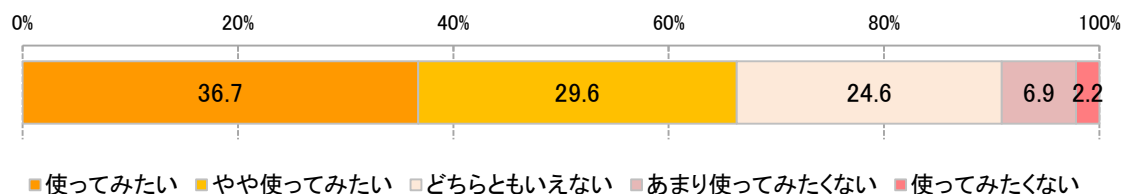
「アイテムや着る人に合わせ、無香料の洗剤や柔軟剤との使い分けもアリ」55.3%

[Q]あなたが洗濯の際にお使いの、洗濯洗剤や仕上げ剤を、全てお選びください。
(自宅で洗濯を担当している方、n=1106、複数回答の上位10まで)



[Q]今後「香料や、漂白剤・着色料・蛍光増白剤・抗菌剤などが全て無添加の洗濯洗剤」も使ってみたいと思いますか？

(はっきりした香り/弱い香りの洗濯洗剤をお使いの方、n=882)



香りつき洗濯洗剤使用者のうち、「無香料・無添加」の使用希望は 66.3%

調査対象の8割が「洗濯するのは自分」で、その頻度は半数が「毎日1回」と回答。洗濯の際にどんな洗剤や仕上げ剤を使っているかを聞いたところ「柔軟剤」67.5%、「衣料用合成洗剤（液体・濃縮・すすぎ1回タイプ）」57.4%、「おしゃれ着用洗剤（中性洗剤）」54.3%がTOP3となり、柔軟剤の使用者が約7割にのぼることがわかりました。

柔軟剤使用者の自由回答では「柔軟剤であることより、香りを重視している」（30代・パート）、「柔軟剤を使うのは“いい香りをさせたい”から」（30代・フルタイム）、「いい香りがすると、干すときに少しやる気が出る」（40代・専業主婦）など、繊維の肌触りをよくすることはもちろん、香りを楽しむためにも商品を選ぶ傾向が見られます。

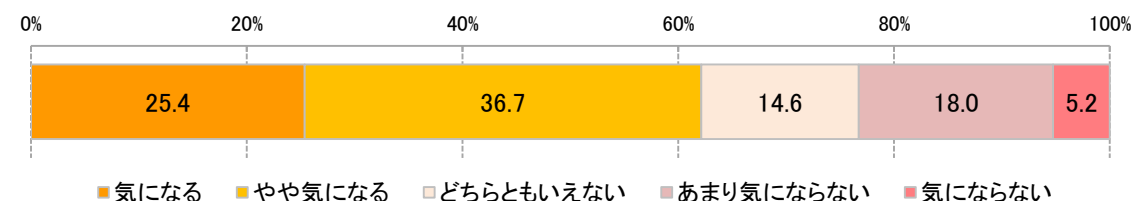
実際「どんなタイプの柔軟剤をお使いですか？」（複数回答）では「弱い香りがある」56.3%、「はっきりした香りがある」45.9%と、多くの方が「香りのあるもの」を使っていることがわかります。

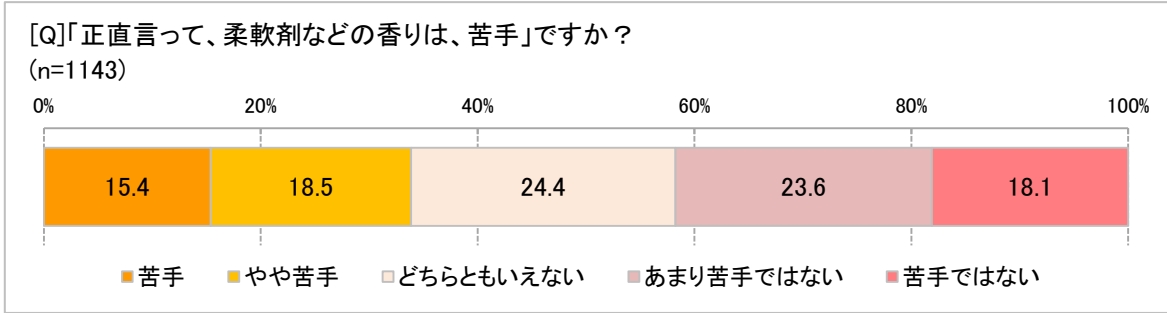
しかし、家族や自分の肌に直接触れるものを洗うという意識からか「洗濯用洗剤を選ぶ際に“肌へのやさしさ”を考えますか？」には64.4%が「考える」（考える25.7%+やや考える38.7%）と回答。さらに、「すすぎ残り」についても65.6%が「気になる」（気になる25.2%+やや気になる40.4%）と答えています。

環境への配慮が働くのも、やはり毎日使うものだからでしょうか。「洗濯洗剤や柔軟剤を選ぶとき、生分解性（微生物による分解性）が高いものを選びたいですか」という質問にも62.8%の人が「選びたい」（選びたい21.3%+どちらかといえば選びたい41.5%）としています。

[Q]他人の衣服の柔軟剤の香りが気になることがありますか？

(n=1143)





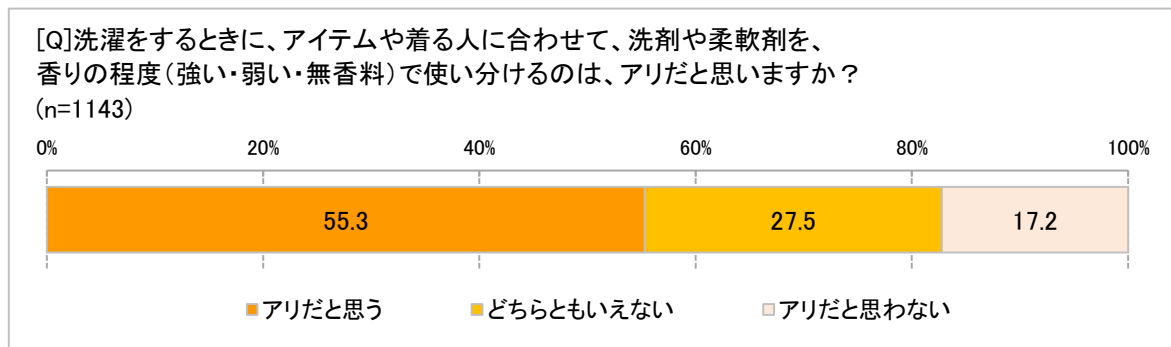
「他人の柔軟剤の香りが気になる」人が 62.1%、「香りが苦手」な人も 33.9%

柔軟剤を使うことで洗濯物の香りを楽しむ人が多いことは先にもご紹介しましたが、その「香り」に対する意識はどうでしょう。

「あなたご自身は洗濯物に洗剤や柔軟剤の香りが残っていることは好きですか？」という質問には 61.2%が「好きだ」（好きだ 27.7%+どちらかといえば好きだ 33.4%）と答え、やはり多くの人が「よい香り」を好ましく思っていることがわかります。

しかし一方で、「他人の衣服の柔軟剤の香りが気になることがある」という人は 62.1%。「正直言って柔軟剤などの香りは苦手」という人は 33.9%という結果になっています。「気になる」というのがすなわち「嫌だ」とばかりは言えないにしろ、たとえ香りが好きな人でも他人の衣服の香りに違和感を覚える場合はある、ということがうかがえます。

また、この香りブームの中であっても「無香料タイプの柔軟剤を使っている人」の自由回答にはこんな意見も。「主人がにおいを嫌うので」（60代・専業主婦）、「旦那の実家では無香料タイプだから、同じものを使おうと思った」（20代・専業主婦）などです。



「アイテムや着る人に合わせ、無香料の洗剤や柔軟剤との使い分けもアリ」55.3%

自由回答からもわかるとおり、同じ家族でも香りがあるほうが良い人と、ないほうが良い人がいるものです。さらに、「いいにおいがするほうがうれしいが、仕事や正装する場面では無香料のほうがよいと思う」（20代・パート）、「飲食店員の服の香りがきつかったときは気分が悪くなったので、そういう人たちには無香料を使って欲しい」（30代・専業主婦）などの声からは、「不適切な場面や場合での香り」が「気になる」こともうかがえます。

家事を楽しく感じさせたりもする「香り」ですが、その好みには個人差もあり、他者への配慮が求められているようです。そのことは全体の 55.3%が「洗剤や柔軟剤を香りの程度で使い分けるのはアリ」と回答していることからわかります。香水などと同じく、洗濯物にも「香らせる」「香らせない」をTPOで使い分けるマナーが必要なようです。

Sponsored by サラヤ株式会社

アンケート概要

●調査対象：オレンジページメンバーズ・国内在住の成人女性（有効回答数 1143 人）

●調査方法：インターネット調査 ●調査期間：2018 年 3 月 20 日～2018 年 3 月 26 日

●「オレンジページ暮らし予報」について

読者モニター「オレンジページメンバーズ」には、さまざまな暮らし情報・暮らし体験によってはぐくまれた“暮らしの目利き”たちが数多く所属しています。そんなメンバーたちの声を集めてく次の暮らし>を読み解いていくのが「オレンジページ暮らし予報」です。WEB 上でのアンケート調査、座談会など、ご相談に応じて展開いたします。

●『オレンジページ』について

失敗なくおいしく作れるレシピ情報が支持され、今年創刊 33 周年を迎える生活情報誌。30～40 代の主婦を中心に幅広い読者層を誇ります。発行部数=314,050 部（2017 年印刷証明付発行部数）。

この資料に関するお問い合わせ

株式会社オレンジページ

暮らしデザイン部

kurashi@orangepage.co.jp Tel. 03-3436-8418

取材お申し込み

株式会社オレンジページ 広報室 遠藤

press@orangepage.co.jp Tel. 03-3436-8421